

学術機関リポジトリと大学図書館 - 千葉大学の事例を中心に -

千葉大学附属図書館

尾城 孝一

ojiro@ll.chiba-u.ac.jp

背景,あるいは問題の所在

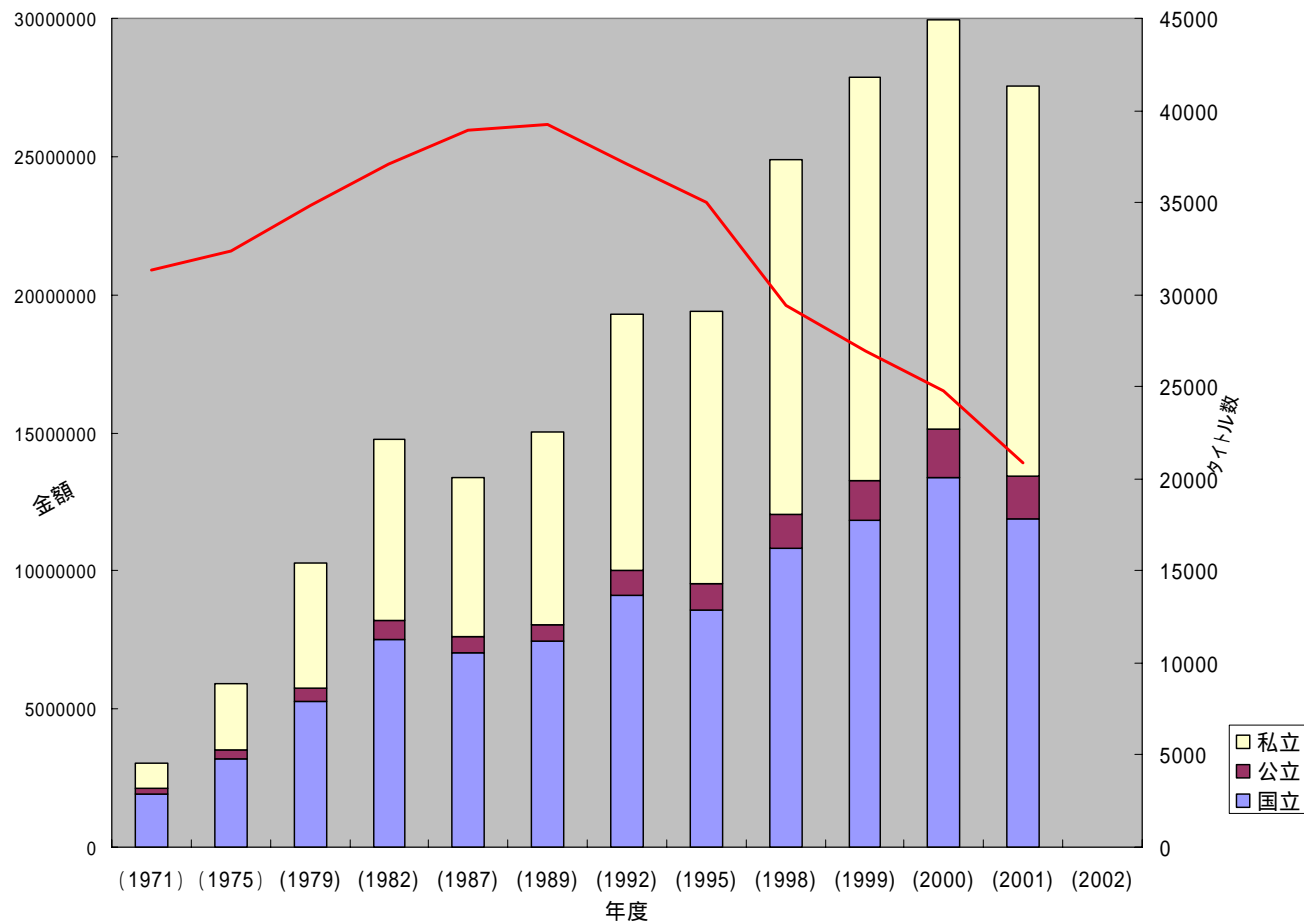
- 学術コミュニケーション・システムの危機
- 大学(研究機関)からの情報発信強化

いわゆるシリアルズ・クライシス

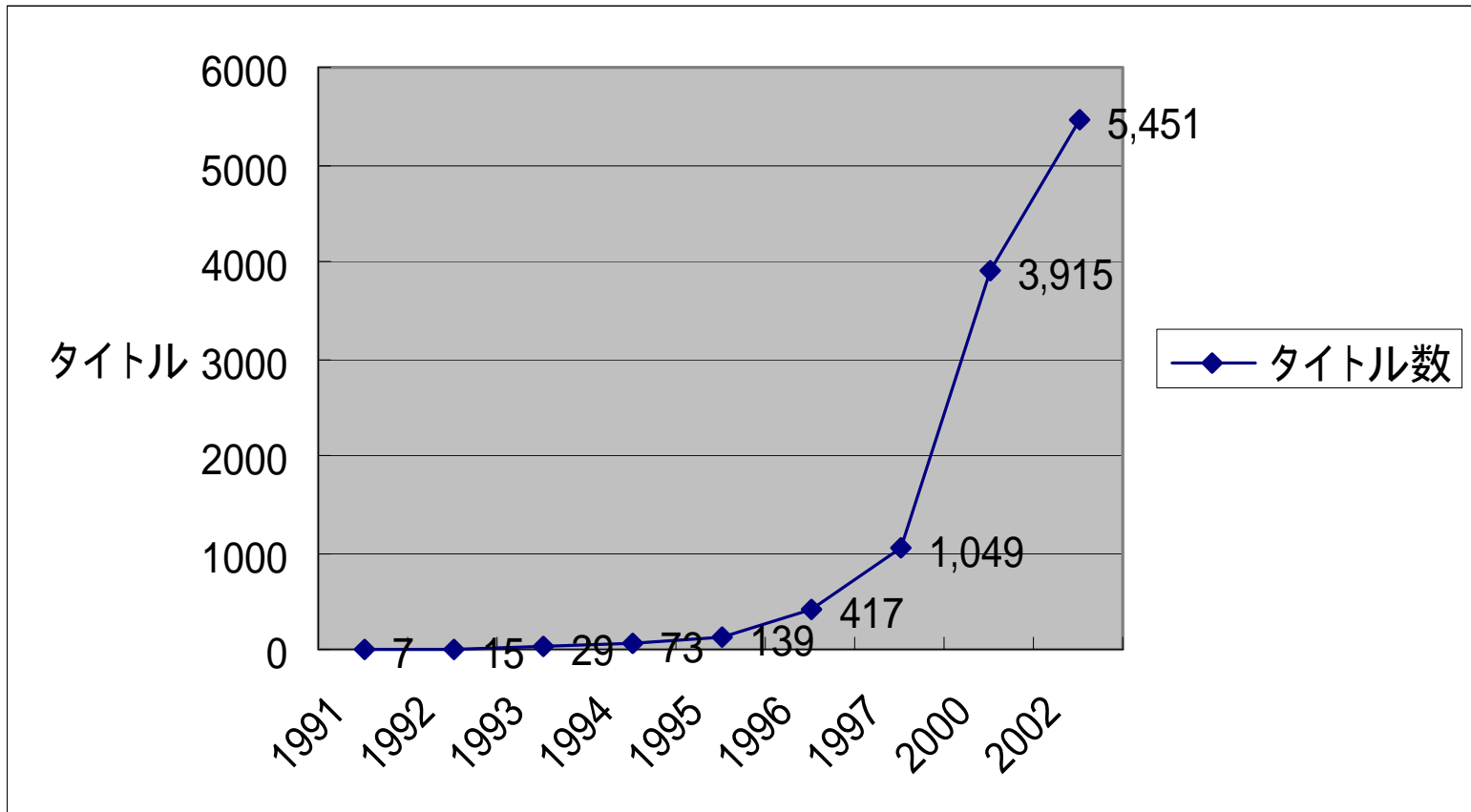
単位:千円

日本国内図書館の外国雑誌購入費および受入れタイトル数

但し1982年度までは和雑誌も含む



査読付き電子ジャーナル刊行状況



出典: ARL Directory of Scholarly Electronic Journals and Academic Discussion Lists

コンソーシアム戦略

- **コンソーシアム形成の効果**
 - 交渉力と購買力の強化
 - Value for Moneyの向上
- **日本のコンソーシアム**
 - 国立大学図書館協議会電子ジャーナル・タスクフォース
 - 長岡技術科学大学 + 高専
 - 医学図書館協会, 薬学図書館協議会
 - 私立大学, 公立大学

タスクフォースの出版社協議

- 2000年9月
 - タスクフォースの設置
- コンソーシアムの形成
 - 2002年 ~
 - Elsevier , Wiley , Springer , Blackwell , ISI
 - 2003年 ~
 - Nature , Kluwer , IEEE Computer Society , ProQuest , EBSCO , CSA等々
 - 2004年 ~
 - BioOne , LWW/Ovid , OUP , APS , CUP等々

その成果

	2001年	2002年	2003年
総タイトル数	30,127	156,976	273,993
4,000-	1大学	2大学	19大学
3,000-3,999	0大学	11大学	16大学
2,000-2,999	3大学	14大学	29大学
1,000-1999	5大学	46大学	18大学
-999	93大学	27大学	18大学

その限界

- **値上がりは続く！！**
 - Price Cap (値上げ率の上限設定) が最大限の努力
- **シリアルズ・クライシスに対する特效薬ではなく、あくまで対症療法**
- **学術コミュニケーションの変革の必要性**
 - 商業出版社が主導権を握る現在の学術コミュニケーションの仕組み自体の変革が必要

「審議のまとめ」

- 科学技術・学術審議会『学術情報の流通基盤の充実について(審議のまとめ)』(平成14年3月12日)
 - － 「大学等から発信される様々な学術情報が簡便に利用できるためには、総合的な情報の発信窓口(ポータル機能)を設置し、統一的な規約によって情報を発信する必要がある。このために、大学図書館が中心となって...情報発信のためのシステムの設計・構築を行う必要がある」

学術情報(研究成果)とは

- 論文(雑誌論文, プレプリント, 紀要論文, テクニカル・レポート, 学位論文), 図書, 教材, 実験データ, 統計データ, 学会発表資料, データベース, ソフトウェア等々

発信の現状

- 雑誌・図書(紙/電子)を通じて刊行
- プレプリント・サーバから発信
- 学会発表
- 授業
- ウェブサイトでの公開

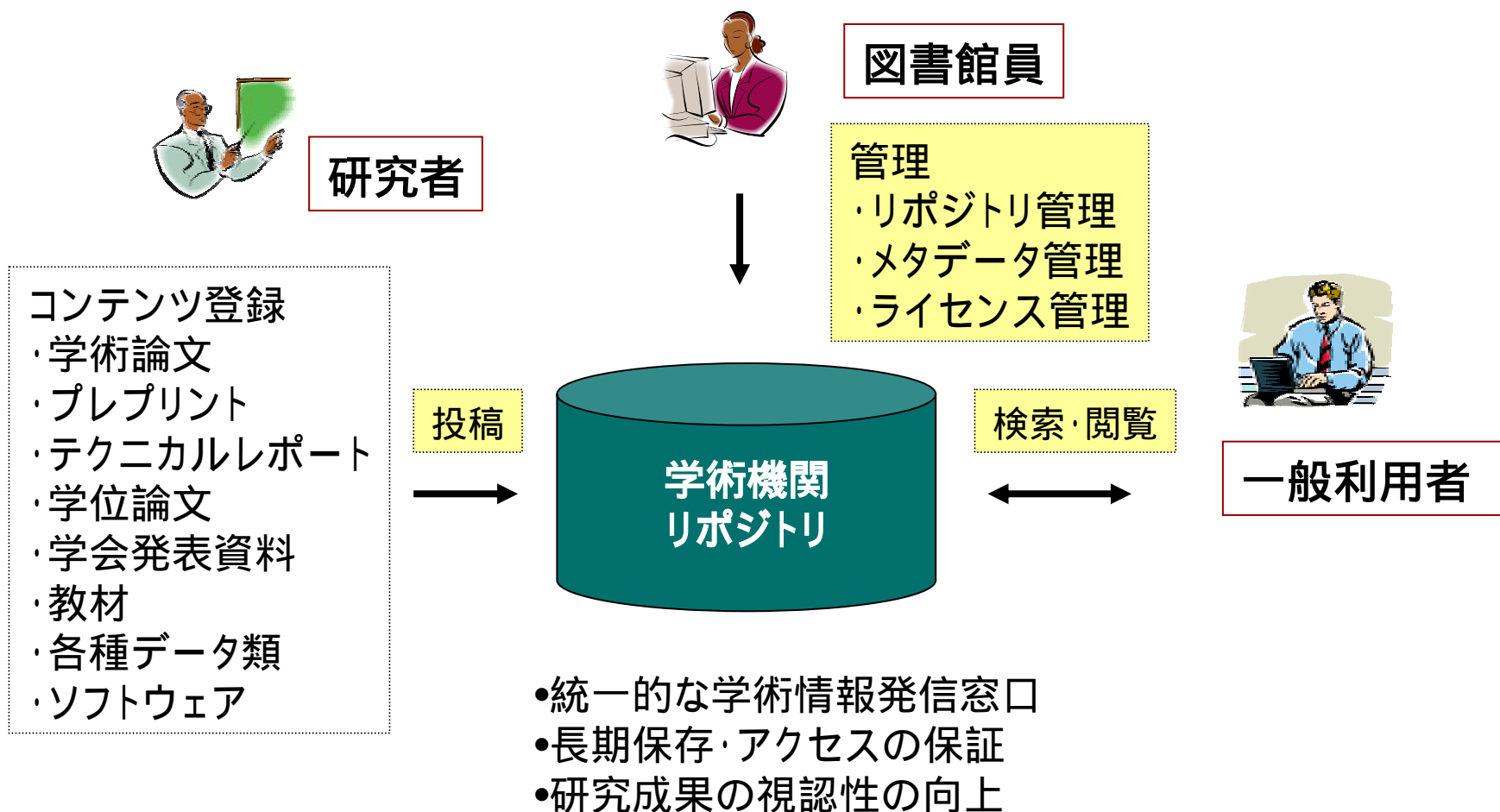
現状の分析

- 統一的な発信窓口の欠如
- 長期的な保存体制の不備
- 隠れた成果の存在

ひとつのソリューション

- Institutional Repository
 - 学術機関リポジトリ, 機関リポジトリ/レポジトリ, 大学リポジトリ
- 「大学内で生産された知的生産物(さまざまな論文, プレプリント, 統計・実験データ, 教材, ソフトウェアなどの学術情報)を蓄積, 保存し, 学内外に無償で発信するためのインターネット上の電子書庫」

システム概要



リポジトリ間の相互利用性

- OAI: Open Archives Initiativeの活動
 - メタデータ・ハーベスティングによる相互利用のフレームワーク
 - データプロバイダ(リポジトリ)とサービスプロバイダ(横断検索等の付加サービス)
 - OAI-PMH (Protocol for Metadata Harvesting)
- OAI-PMH紹介ページ
 - <http://www.nii.ac.jp/metadata/oai-pmh/>

海外の事例

- SPARC Institutional Repositories List
 - <http://www.arl.org/sparc/core/index.asp?page=m1>
 - 26のリポジトリ(2003年11月5日現在)
 - オーストラリア(1), カナダ(1), デンマーク(1), フランス(1), ドイツ(4), インド(1), イタリア(1), オランダ(2), スウェーデン(3), スイス(1), 英国及びアイルランド(5), 米国(5)

DSpace (マサチューセッツ工科大学)

- <https://dspace.mit.edu/index.jsp>
- 2002年11月にサービス開始
- 現在, 5つの研究コミュニティ(学部, 学科, センター等)が参加
- DSpaceソフトウェアをヒューレット・パッカー社と共同開発 オープンソース化
- DSpace連合の結成(ケンブリッジ大学, コロンビア大学, コーネル大学, ロチェスター大学, オハイオ州立大学, トロント大学, ワシントン大学)

eScholarship (カリフォルニア大学)

- <http://repositories.cdlib.org/escholarship/>
- CDL (California Digital Library) が2002年4月にサービス開始
- 研究論文, ワーキングペーパー, テクニカルペーパー, プレプリント等を格納
- 登録ペーパー数: 2,312 (2003年11月13日現在)
- 約10,000件/週のダウンロード実績
- ソフトウェアはバークレイ校で開発されたbepressを使用

CODA (カリフォルニア工科大学)

- <http://library.caltech.edu/digital/>
- カリフォルニア工科大学の各種リポジトリの集合体
- 10種のリポジトリが公開され, 6種が準備中 (2003年11月13日現在)
- ソフトウェアは, サウサンプトン大学で開発されたEPrintsを使用

その他の事例

- FAIR (Focus on Access to Institutional Resources)
 - 英国JISC (Joint Information Systems Committee) のプログラム
 - 学術機関リポジトリの普及をめざし, 14プロジェクト(50機関)が活動中
- CARL (Canadian Association of Research Libraries)
 - CARLを中心とした, 学術機関リポジトリのパイロット・プロジェクト
- DARE (Digital Academic Repositories)
 - オランダの全国規模の分散リポジトリ構築計画

SPARCの支援活動

- 『機関リポジトリ擁護論：SPARC声明書 (“The Case for Institutional Repositories: A SPARC Position Paper”)』 (2002年)
 - http://www.tokiwa.ac.jp/~mtkuri/translations/case_for_ir_jptr.html
- 『SPARC学術機関リポジトリ・チェックリストおよびリソースガイド (“SPARC Institutional Repository Checklist & Resource Guide”)』 (2002年)
 - http://mitizane.ll.chiba-u.jp/information/SPARC_IR_Checklist.pdf

期待される効果

- **学術コミュニケーションの変革**
 - 世界的なリポジトリのネットワーク
 - 無料でアクセスできる学術論文の増加
 - 商業出版社の寡占システムへの代替
- **大学からの情報発信強化**
 - 統一的な情報の発信窓口として機能
 - 大学の説明責任
 - 研究機関としての知名度の向上

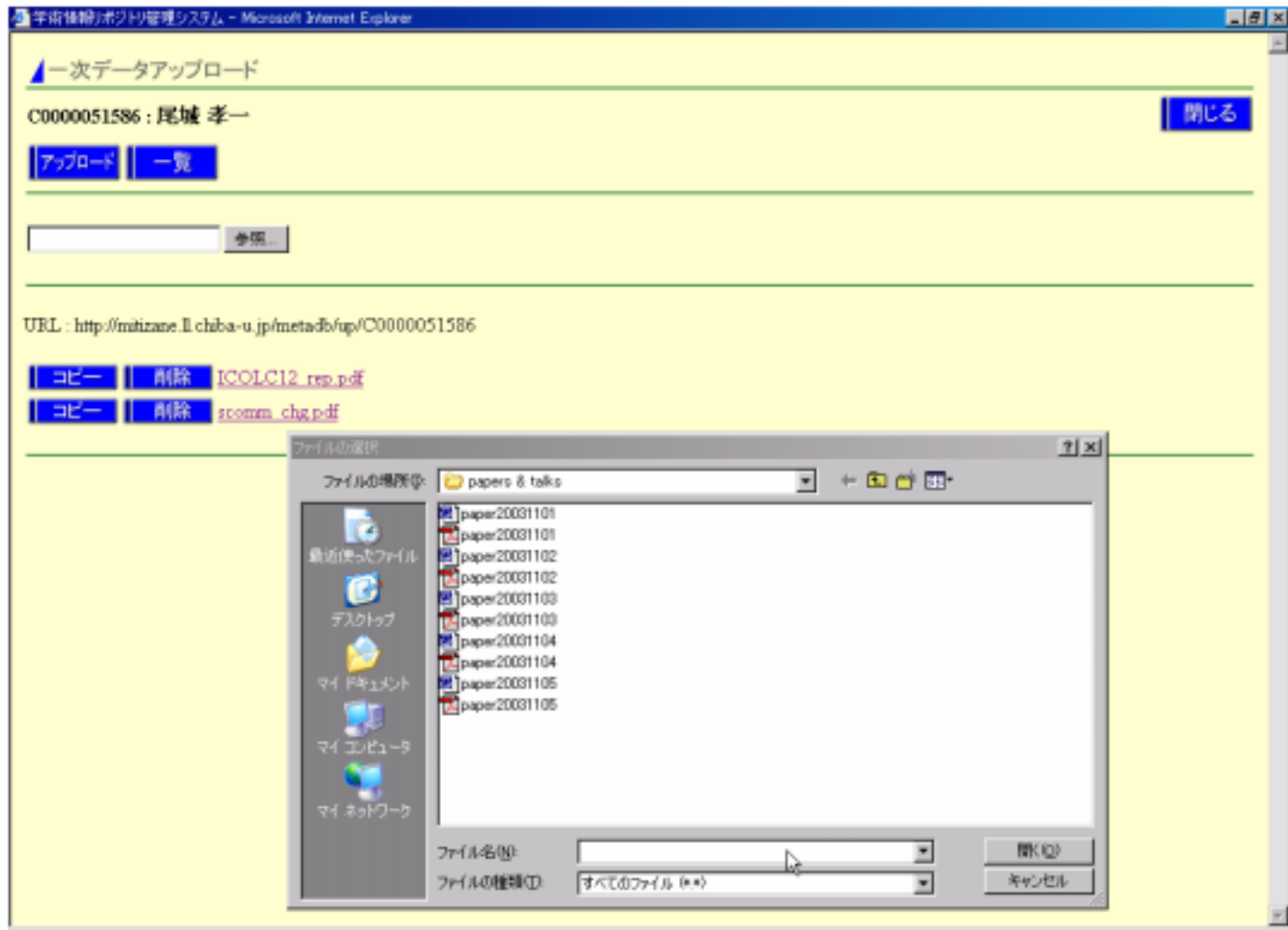
千葉大学学術情報リポジトリ計画

- 館内ワーキンググループの設置(平成14年6月)
- 国内外の動向調査
- 学内教官を対象としたアンケート調査(平成14年10月)
- 「千葉大学学術情報リポジトリ(仮称)」プロトタイプ版の開発(平成15年3月完成)
- 附属図書館長の下に「協力者会議」設置(平成15年7月)
- 運用開始予定(平成16年4月)

プロトタイプの概要

- **ハードウェア**
 - DELL PowerEdge 600SC (メモリ1G , HD80G)
- **ミドルウェア**
 - Oracle
- **リポジトリ・アプリケーション**
 - 独自開発(外注)
- **実装機能**
 - 利用者管理
 - コンテンツ登録(アップロード)
 - メタデータ更新
 - 検索・利用
 - OAI-PMHリポジトリ機能

コンテンツ・アップロード



メタデータ入力

学術情報ポータル管理システム - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

メタデータ登録(修正)

C0000051586: 尾城 孝一

検索画面 ログアウト

保存 一次データ管理

<00020212>

Title 国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC: International Coalition of Library Consortia) 第12回年会報告

Creator 尾城孝一

Subject NDC D113
 図書館コンソーシアム
 国際図書館コンソーシアム連合
 電子ジャーナル
 コーセンシング
 デジタルレファレンス
 機関リポジトリ

Description 国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC: International Coalition of Library Consortia) は、図書館コンソーシアムの非公式団体であり、その歴史は、1997年に米国セントルイスにて非公式に開催されたコンソーシアムのコンソーシアム (COC: Consortium of Consortia) にまで遡ることができる。現在、北米、ヨーロッパ、オーストラリア、アジア及びアフリ

Publisher

Contributor

ページが表示されました

インターネット

検索画面

千葉大学学術情報リポジトリ - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

千葉大学学術情報リポジトリ

千葉大学で生産された各種研究成果(論文, 教材, レポート類)が検索できます。現在, 試行的に公開しております。収録データ数が少ない点(は)ご容赦ください。

更新日 ~ 件表示

ご意見・ご質問等ございましたら下記までお寄せください。
千葉大学附属図書館 情報管理課 雑誌・電子情報係
jsba@lib.chiba-u.ac.jp

ページが表示されました

インターネット

メタデータ一覧表示

千葉大学学術情報リポジトリ

千葉大学で生産された各種研究成果(論文, 教材, レポート類)が検索できます。現在, 試行的に公開しております。収録データ数が少ない点にご容赦ください。

検索 クリア ヘルプ

高木 全て AND
全て AND
全て

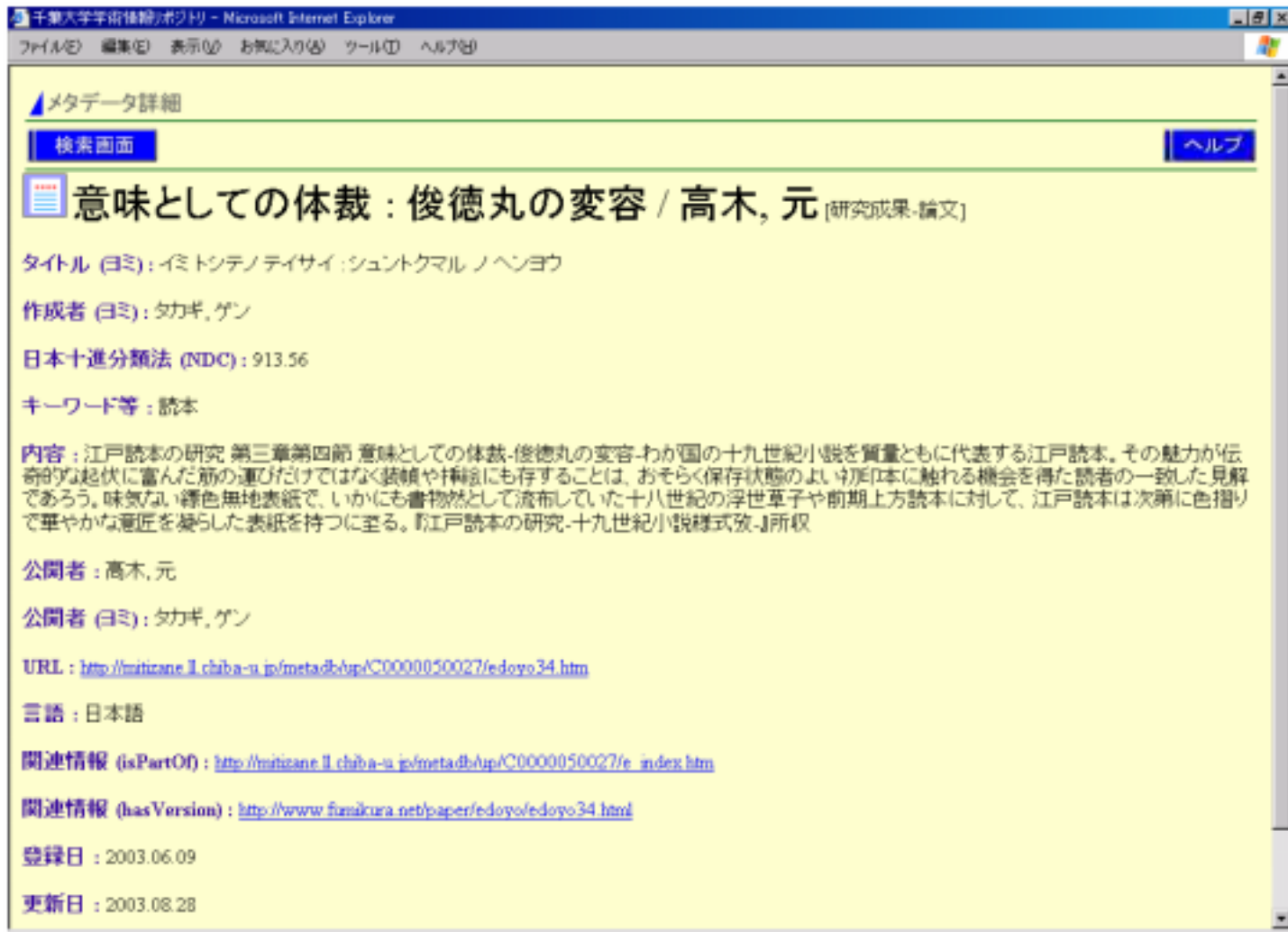
更新日 ~ 10 件表示

検索結果 34件

1. 意味としての体裁：俊徳丸の変容 / 高木, 元
江戸読本の研究 第三章第四節 意味としての体裁-俊徳丸… [詳細]
<http://hdl.handle.net/10.1111/1446-2242.0000030027indoyo34.htm>
2. 江戸読本享受史の一断面：明治大正期の翻刻本について / 高木, 元
江戸読本の研究 第四章第二節 江戸読本享受史の一断面… [詳細]
<http://hdl.handle.net/10.1111/1446-2242.0000030027indoyo42.htm>
3. 江戸読本研究序説：序章 / 高木, 元
読本(よみほん)は、近世小説ジャンルの中でもっとも古く… [詳細]
<http://hdl.handle.net/10.1111/1446-2242.0000030027indoyo00.htm>
4. 江戸読本の形成：板元鶴屋喜右衛門の演出 / 高木, 元
江戸読本の研究 第一章第二節 江戸読本の形成-板元鶴屋… [詳細]
<http://hdl.handle.net/10.1111/1446-2242.0000030027indoyo12.htm>
5. 江戸読本の研究：あとがき / 高木, 元
江戸読本の研究 あとがき そもそも江戸読本との出逢い… [詳細]

ページが表示されました インターネット

メタデータ詳細表示



千葉大学学術情報ポータル - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(O) ツール(T) ヘルプ(H)

メタデータ詳細

検索画面 ヘルプ

意味としての体裁：俊徳丸の変容 / 高木, 元 [研究成果-論文]

タイトル (ヨミ): イミトシテノテイサイ:シュントクマルノヘンヨウ

作成者 (ヨミ): タカギ, ゲン

日本十進分類法 (NDC): 913.56

キーワード等: 読本

内容: 江戸読本の研究 第三章第四節 意味としての体裁-俊徳丸の変容-わが国の十九世紀小説を質量ともに代表する江戸読本。その魅力が伝奇的な起伏に富んだ筋の運びだけでなく装幀や挿絵にも存することは、おそらく保存状態のよい江戸本に触れる機会を得た読者の一致した見解であろう。味気ない緑色無地表紙で、いかにも書物然として流布していた十八世紀の浮世草子や前期上方読本に対して、江戸読本は次第に色摺りで華やかな運匠を愛した表紙を持つに至る。『江戸読本の研究-十九世紀小説様式攷-』所収

公開者: 高木, 元

公開者 (ヨミ): タカギ, ゲン

URL: <http://mitizane.il.chiba-u.jp/metadata/np/C0000050027/edoyo34.htm>

言語: 日本語

関連情報 (isPartOf): http://mitizane.il.chiba-u.jp/metadata/np/C0000050027/e_index.htm

関連情報 (hasVersion): <http://www.fumikura.net/paper/edoyo/edoyo34.html>

登録日: 2003.06.09

更新日: 2003.08.28

コンテンツ表示

意味としての挿絵 - 役徳丸の宴客 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

『江戸絵本の研究』

第三巻第四章 意味としての挿絵 - 役徳丸の宴客 -

高木元

一 江戸絵本の体裁

わが国の十九世紀小説を質量ともに代表する江戸絵本。その魅力が伝奇的な起りに富んだ筋の運びだけでなく怪談や挿絵にも存することは、おそらく挿絵状態のよい初印中に触れる機会を持った読者の一致した見解であろう。味気ない着色単地表紙で、しつこく書物然として蓄積していた十八世紀の浮世草子や前期上方読物に対して、江戸読物も次第に華やかな意匠を凝らした表紙を持つに至る。似こそあっさりとした文字だけのものが多かったと思われるが、見出しにはさり気なく内容に則した装束などを添え、縁飾には主な登場人物を置いてその運命を暗示する絵が入れている。多くは漢文序を備え、目録は意匠性小説に似した独特の様式を持ち、さらに本文中には時に挿絵的な面影の挿絵が入れられていた。

このような江戸絵本の気取った華やかさは、読者に対する作者の自己主張として意識的に造本された結果である。ひとたび手にとってみると、重ね積りを施した華麗な口絵は展開を暗示し、目録は大きな筋を示し、さらには挿絵に一言を加えると、もう読まなければならないという具合に本が解らているのである。きわめて単純化してしまえば、同時期の夏目漱石が純文学界から挿絵風挿絵表現に移行していったように、商品としての魅力を持たせるための所為と見做せるかもしれない。

しかし、作品内容と挿絵とが不可分の関わりを持ちつつ各ジャンルを形成していった近世文壇において、比較的相調高く堅い雰囲気を持続しようとした江戸絵本が、なぜ下手な装いを身につけたのであろうか。おそらく「絵本」という名称とは裏腹に、単に筋を語むだけのものから、次第に口絵や挿絵という視覚的な要素の比重が増し、現代の読者たちと同様に、モノとしての本自体の美しさをも愛玩するようになったからであろう。本というモノは本質的に手で弄んで読むものであり、単に文字列が記されていてはよいという美用品ではないのである。

二 役徳丸の宴客

初刷初印の美しい江戸絵本が、摺りだてのきわめてうぶな状態で保存されている作品の一つとして、広島市立図書館蔵野文庫に所蔵されている複製家主人作・露赤北馬場の『役徳丸 宴客 謡曲演義(しんとく丸やうきやくまんざら)』(文政六年、享徳興助版)を覗くことができる。現存本としては『国書総目録』に僅かに本を見るに過ぎないし、『古典籍総合目録』にも登録されていないが、現在までに発見に入ったものは総本を含めて十三本あり、これは江戸絵本の挿絵本数からいえば平均的な数字だと思われる。

この本には絵本の挿絵に似た大層凝った装飾が施されている。半紙本五巻五函、単色地に梅花氷裂きを散らし、中央上部に長方形無地の文字額縁「役徳丸\宴客之一\亀の井\ま\子さん\門下集」と、巻一の第一回から第三回までの見出しを由名紙に配置している。見出しには得意な飾り枠の内用を基で演し「謡曲演義役徳丸」と白く抜いている。自序「役徳丸 興序」には前序と別題点とを印す。複製家の意匠を用いた経目録を掲げている。これらは謡曲『役徳丸』を強く意識したものとと思われるが、それ以外にも意匠した凝り方を見せている。

さて、謡曲『宴客謡』や謡曲『しんとく丸』(享徳興助)に結実した役徳丸の世界も、次第にほかの世界と深い交錯にされて実容を透すていった。浄瑠璃では謡曲『富士大鼓』の筋を採った『寄侍入寄寄形(しんとく丸やうきやくまんざら)』(享徳興助版)や、『愛蔵書(しんとく丸)』物の趣向を取り入れた『折角合拜状(しんとく丸やうきやくまんざら)』(享徳二年刊)などがある。小説では富士津廻と役徳丸を結びつけた先行作として享徳十五年刊の八文字堂本『富士津廻御膳書』がある。複製家はこれらの人口に翻案した作品に題材を求めたのであるが、本作がこの八文字堂本によっていることは、すでに筑田美都枝氏が指摘している。だが、新たに書き加えられた趣向も多く、作品全体には(鏡輝の由来譚)としての枠組が与えられている。口絵の解説に、

按本情役徳丸は氏未詳蓋後徳者之徳也。一書曰英徳或作新徳百済王之後裔備山嶺長者延暦年間之人也云云。時人稱其長者有徳而稱徳。今尚舊蹟存于河内省安都山嶺村中。土人呼之徳茶難平新徳者口傳説也。相傳徳徳之徳名永承為徳馬代者乎。于此所記非徳者本。只推出原徳之謡曲以開河為謡曲本者而作也。亦唯浮世徳謡呼於徳人其指諸乎。

と記してあるが、『河内志』の記述や、『河内名所図會』に見える、

真徳庵の古詩 山嶺村の中にあり。土人、鏡輝と呼ぶ。一説に、徳徳あるは新徳に作る。この人、姓氏不明ならず。あるが曰く、百済王の御にして、山嶺長者と号し、延暦中の人なり。謡曲「徳茶謡」に見えたり。大坂天王寺門の外に真徳徳遺跡あり

ページが表示されました

インターネット

検討すべき課題

- 初期データ整備
- ガイドラインや利用許諾契約書の策定
- 登録の促進
- 著作権譲渡をめぐる問題
- ソフトウェアの改造

初期データ整備

- 紀要類
 - NIIの紀要ポータル事業による電子化データ
- 学内外のサーバにおいて既に公開されている電子論文
 - Technical Reports of Mathematical Sciences, Chiba University
 - arXiv.org , ADS (NASA Astrophysics Data System)
- CD-ROM化済みコンテンツ
 - 自然科学研究科学学位論文

ガイドラインと利用許諾契約書の策定

- **ガイドライン**

- 誰が登録できるのか？
- 何を登録できるのか？
- どのようなフォーマットで？
- 著作権は何処に？
- 品質管理の必要性？

- **利用許諾契約書**

- コンテンツ登録者から、非排他的な無償の利用許諾を得る必要あり

登録の促進

- 使いやすい登録インターフェイス
- リポジトリのメリットの強調
 - 自らの研究成果の認知度を高める
 - 無料でアクセスできるオンライン論文の非引用率を示す
 - オフライン論文に比べて2.6倍多く引用されている
(Lawrence, Steve. “Online of invisible?”)
 - 研究成果の長期保存・利用の保証
- 大学としての方針が打ち出せるか？

著作権をめぐる問題

- 出版社や学会の著作権ポリシーに関する情報提供
 - 学術雑誌に掲載された論文をリポジトリに登録することは可能か？
- RoMEOの調査結果
 - <http://www.lboro.ac.uk/departments/ls/disrese/arch/romeo/index.html>
 - 7,135誌(80社)を対象
 - プレプリント, ポストプリントのいずれかまたは両方の登録を認めている雑誌が全体の54.6%

プロトタイプの改造

- コンテンツ登録インターフェイスの改善
- 検索利用インターフェイスの改善(ブラウジング, 最新コンテンツ一覧, 新着アラート機能)
- 統計機能(登録, アクセス)
- セキュリティの確保

今後の展望

- リポジトリ共同体
 - 課題解決に向けた知識や経験の共有
 - ソフトウェアの共同開発とオープンソース化
- 大学図書館とNIIのコラボレーション
 - 大学図書館
 - 学内の学術情報を収集, 保存
 - 国立情報学研究所
 - 各大学のリポジトリに対する総合的窓口機能

めざすべきは



日本発の学術情報への統一的窓口

JuNii , GeNii

NIIメタデータ
データベース

メタデータ・ハーベスティング

千葉大学

B大学

C大学

D研究所

学術機関リポジトリ

論文

教材

データ

ソフトウェア

学術機関リポジトリ

論文

教材

データ

ソフトウェア

学術機関リポジトリ

論文

教材

データ

ソフトウェア

学術機関リポジトリ

論文

教材

データ

ソフトウェア